

講師協議会便り

大阪教育合同労働組合
講師協議会
第2028号
大阪市中央区北浜東
1-17
日本ワドデタービル8階
06-4793-0633

講師の使い捨ては許さないぞ!!

座り込み団交で雇用獲得する!

一昨年に続き、今年も雇用を要求する、座り込み闘争を実施しました。

3月25日府庁別館前に「雇用獲得闘争本部」を設置し座り込み、団体交渉を行いました。

寒風が吹きすさび一時は雨がふるといふ寒い中で12時間に及ぶ座り込み、団体交渉を貫徹しました。

雇用を求める団体交渉の中で府教委は当初、「新採を多く取ったので講師枠がなくなりました。」と講師を切り捨てるかのような回答をしてきました。不誠実な対応に組合員の怒りが爆発して、府教委の雇用



新採を多く取れば現任講師がはみ出すのは当然のことです。これは先の定期交渉で、「講師を切り捨てるつもりはありません。」と回

責任を厳しく追及しました。新採を多く取れば現任講師がはみ出すのは当然のことです。これは先の定期交渉で、「講師を切り捨てるつもりはありません。」と回

定例講師協議会

先日の座り込み、ご苦労様でした。厳しかった今年の雇用獲得闘争も一段落して、それぞれの職場での仕事が始まったことと思います。今年の雇用獲得闘争の総括を行い来年度に向けての闘いを踏み出していかなければなりません。多数の参加をお願いします。

記

日時 4月16日(土) 2時~
場所 組合事務所
議題 雇用獲得闘争の総括・職場交流
(終わった後、軽く一杯いきたいですね...)

答したことに反します。

講師の使い捨ては断じて許さない、という組合の強い姿勢での交渉に府教委も仕事を探さざるを得なくなり、夜、9時になってようやく職の斡旋の約束をしてきました。当初は全く誠意のなかった当局の態度も、座り込みを背景にした団体交渉の中で、雇用の約束をするしかなかったのです。

ここ数年は講師多用の中で、雇用獲得闘争も有利に展開するかと思われましたが、実際は新採大量採用の中で、大阪市では100人の小学校講師の首切りが行われ、府立養護学校では70人の講師の首切りが行われています。このような状況の中で座り込み団交という実力闘争こそが雇用獲得闘争の勝利をもたらしたのです。

大阪支部全面的勝利

大阪支部では、2月28日に大阪市教委と団体交渉を持ち、講師一人一人の希望条件を直接人事担当者にぶつけました。それと同時に雇用の回答を3月25日より早く出すことを求めました。そして23日には全員雇用、との回答があり、25日には闘争本部の場に配置校の連絡がありました。若干の調整がありました。昨年引き続き全員の雇用獲得となりました。

座り込みに参加して

南河内支部 Sさん

私自身もこの日まで職が決まらず、果たして四月から仕事があるのだろうか、という不安の中で座り込みに参加しました。団体交渉にも参加しましたが、当局の回答は「新採を多く入れたため講師枠がなくなりました。」という不誠実な態度でした。午後の交渉でようやく2名の仲間の雇用が決まりました。夕方になって、座り込んでいる仲間たちも疲労がたまりかけていました。

不明朗な講師人選

何回目かの団体交渉の中で、私の希望している校種、免許と同じ教科で新しい講師が入っていることが明らかにになりました。その講師がどのような手続きで入ったのか質問しても要領をえない返事に終始し、不透明な講師人選に交渉団の怒りが爆発しました。

講師の人選について校長の恣意性があるのはならないこと、府教委の雇用責任で講師を雇用しなければいけないこと、などを交渉団は理論的に追及していきました。教育合同のパワーが炸裂する中で府教委は自らの間違いを認めざるを得なくなり、私ともう一人の仕事を斡旋してきました。まさに団体交渉の力、組合の力で勝ち取った雇用です。12時間という長い時間でしたが、充実感、達成感を感じた一日でした。



三年連続 一号アップ!

講師賃金の頭打ちが3年連続して一号上がりしました。四月から一級22号が一級23号になります。金額にして60000円の賃上げです。昨年の賃金交渉では頭打ち改善の要求は出しておらず、教諭と同じ2級に格付けすることを要求して交渉してきました。講師は毎年の雇用不安と、教諭との大きな賃金格差が問題であることを指摘して闘ってきましたが、昨年の交渉で府教委は、「3点セット(登録の仕方、採用のあり方、待遇について)で考えていきたい。」と回答しています。頭うちの改善ではなく、教諭と同じ2級格付けの実現を目指して闘っていかねばなりません。